神奈川県立麻生高等学校　令和５年度　学校目標

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①組織的な授業改善に取り組み、生徒一人ひとりに対するきめ細かな指導と家庭学習習慣の確立を通して、主体的に学ぶ姿勢を育成する。 ②国際的視野の涵養と豊かな語学力・コミュニケーション力等を育成し、国際社会に貢献する高い志を持ったグローバル人材を育成する。	①新学習指導要領の年次進行に伴い、「主体的・対話的で深い学び」を達成するため、研修等を実施し、指導と評価の一体化の視点からの授業改善を図る。 ②本校の教育目標のひとつである国際社会に貢献する人材育成を目指して、国際交流事業をはじめとしたさまざまな教育活動を展開する。	①教育課程の質的改善を図り、生徒の自己表現活動を取り入れた授業改善研修を実施する。 ①授業改善のための「授業を見に行こう週間」の活用や、生徒による授業評価の結果を分析し、改善に活かす。 ②感染症対策を十分に講じ、留学生受入れ等の国際交流についてさらに推進する。	①各授業で「１人１台端末」を活用した授業展開をすることができたか。 ①全教職員が他の授業を参観し、生徒による授業評価の「授業のあり方」「生徒自身の授業に対する取組状況」の数値が前年度より高められたか。 ②留学生受入れ等の国際教育への取組を行うことができたか。
2	生徒指導 ・支援	①学校生活、特別活動を通して豊かな人間性と社会性・規律意識を備えた生徒を育成する。 ②自主・創造の意欲と協調・協働の精神を持ち、望ましい人間関係を構築できる生徒を育成する。	①学校行事、部活動等を通じて、生徒の主体的な活動を保障するとともに、豊かな人間性の涵養を図る。 ②多様な価値観を認め合う社会の中で生きていくために必要な感性を育てる。 ②ＳＣ、ＳＳＷ、外部機関等との連携を密接に図り、生徒が安心して学校生活を送れる支援体制を構築する。	①新型コロナウィルス感染所防止対策を十分に行い、生徒による新しい生活様式に則した学校行事の運営を目指す。 ①部活動の活性化を目指し、学習との両立を図りながら年間計画を立てる。 ②生徒に規範意識を確立させ、全職員で遅 刻防止・挨拶・身だしなみ、情報モラル等の指導に当たり、品位ある態度と社会性を身につけるよう指導する。 ②ＳＣ、ＳＳＷを効果的に活用し、教育相談体制の構築・外部との連携等により、効果的な生徒支援に当たる。	①学校行事において生徒の自主的な意見を取り入れた運営ができたか。 ①生徒の部活動加入率が向上したか。 ②朝の立ち番指導や定期試験中の服装・頭髪チェックを実施することにより、生徒が自主的にルールを守ることができたか。 ②生徒がＳＣ、ＳＳＷを積極的に活用することができたか。また、外部機関等との連携ができたか。
3	進路指導・ 支援	①高い志に根ざした第一希望の進路実現に向けて、３年間を見通した進路指導、個に応じたきめ細かい面接指導などを段階的かつ系統的に実施する。	①　３年間を通じた体系的な進路支援体制の充実を図り、生徒自身が目的意識をもって自己実現していくキャリア形成に寄与する。 ①進路情報を的確に提供する機会を設定し、進路実績の質的向上を図る。	①生徒対象進路説明会を、時期、目的に応じて学年進行の中で、体系的に実施する。 ①保護者対象説明会を、各学年において実施する。 ②英語４技能を利用した大学受験のシステムを生徒に提示し、実用英語技能検定の取得と進路実現との関連を理解させ、資格取得への動機づけとする。	①進路希望調査、担任との面談等を通じて、自己実現に向けての方向性を確認し、キャリア形成に結びつけることができたか。 ②実用英語技能検定準２級の取得率を前年度より向上させることができたか。

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		②英語検定、「総合的な探究の時間」等を活用して、４技能の英語教育の充実、言語能力・コミュニケーション能力・課題解決力等を伸長することで、進路実現につなげる。	②国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、ステップのひとつとして実用英語検定の準２級取得率の向上を目指す。 ②「総合的な探究の時間」を、教科横断的で主体的な課題探究・解決能力の伸長を図るよう改善する。	②各学年の「総合的な探究の時間」において、生徒一人ひとりが自律的に課題の考察に向けた探究サイクルを形成するよう働きかける。	②探究活動の充実を図り、その成果を発表会等を通じて発信することができたか。
4	地域等との協働	①ＰＴＡ・同窓会・地域との連携・交流を深め、地域に開かれた学校作りを推進する。 ②「国際社会で貢献する高い志を持つグローバル人材の育成」をスローガンに国際教育、英語教育、芸術教育を県民に積極的に発信し、意欲ある生徒の獲得を目指す。	①小中学校や地域等との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。学校運営協議会等を通じて、外部人材の活用を図り、教育力の向上につなげる。 ②ＨＰ等を通じて生徒の活動の実績や学校の取組について積極的に情報を発信し、本校の魅力と特色についてアピールする。アドミッションポリシーの浸透を図り、目指すべき生徒像をもとに、教育活動の充実を図る。	①学校運営協議会等を通じて、開かれた学校づくりを目指して各方面からの助言を受け、地域や近隣小中学校との連携を図る。 ②学校説明会や学校ＨＰ等を活用して、地域や受検生、県民に対し、本校の特色と魅力について効果的に発信する。特に説明会では、司会や説明等を生徒が行い、生徒主体となる説明会になるようにする。	①地域、校外機関等の外部人材の教育力を活用する取組を行うことができたか。 ②興味関心を持たせるような見やすい学校ＨＰになっていたか。また、更新頻度を高め、分かりやすい学校説明会の実施や動画配信により本校の特色や魅力を発信し、志願者数の増加を図ることができたか。
5	学校管理 学校運営	①教育公務員としての高い使命感と倫理観を持ち、不祥事防止に取り組むとともに、協働とライフワークバランスを意識して職務に取り組み、働き方改革を推進する。 ②保護者・地域・県民からの信頼と期待に応える安心・安全な学校づくりを進める。	①不祥事ゼロプログラムに基づいた不祥事防止研修を適宜実施するとともに、協働意識の醸成に向けた体制作りに取り組む。業務内容の精選、可視化を図り、ワークライフバランスを意識した業務の効率化を図る取組を推進する。 ②教職員の防災意識を高め、地域と連携した実践的な防災対策を進める。	①年間を通じて、計画的な研修を実施することにより、不祥事防止に取り組む。 ①業務の環境整備を進め、業務内容の精選や可視化を図る。 ②大規模災害の発生に備え、教職員の防災意識を高めるとともに、地域、自治体と連携した防災体制の構築に取り組む。	①不祥事防止研修を実施し、リスク回避を図り、事故防止に努めることができたか。 ①風通しの良い職場づくりをすることにより、業務に対する可視化、効率化を図ることができたか。 ②学校全体として、防災意識を高めることができたか。 ②地域、自治体と連携した防災体制の構築に取り組むことができたか。